

平成25年度

# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？平成25年度の予算は？…………… 01
- 収入（歳入）と支出（歳出）の内訳は？…………… 01～02
- 市民一人あたりにすると？…………… 03
- 予算を「家計」に例えると？…………… 04
- どのような事業に使うの？…………… 05～08

### 福岡市の財政状況はどんなの？

- 借金はいくらあるの？他の政令指定都市と比べるとどうなの？…09
- 借金は何に使っているの？なぜ借金が増えたの？……………10
- 収入や支出はどうなってるの？……………11～12
- 福岡市の財政状況のまとめ……………12

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- なぜ財政改革が必要なの？行財政改革の取組みは？……………13～14
- うち、財政健全化の取組みは？……………15～16
- 平成25年度における財政健全化の取組みは？……………17～18

福岡市の  
平成25年度予算  
財政状況  
財政健全化に向けた取組み  
を紹介します！

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

〔この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。〕

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが納めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。

## ●どのような予算があるの？

予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはつきりさせるために3つの会計（一般会計、特別会計、企業会計）に区分しています。

## ●平成25年度の予算は？ ( )は前年度

### 用語の解説

**一般会計**  
福祉、教育などの行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

◎**全会計 1兆7,942億円** (1兆8,417億円) 前年度比 2.6%減

◎**一般会計 7,596億円** (7,662億円) 前年度比 0.9%減

◎**特別会計 8,109億円** (8,390億円) 前年度比 3.3%減

◎**企業会計 2,237億円** (2,365億円) 前年度比 5.4%減

一般会計の予算は、過去2番目の規模となっており、政令指定都市(20都市中)では、大阪市、横浜市、名古屋市、札幌市について5番目の規模です。

特別会計は、使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。福岡市には現在17会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。

企業会計は、民間企業と同じように事業収益で賄われている会計です。福岡市には、現在4会計(下水道、水道、工業用水、地下鉄)があります。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

### ①一般会計の収入(歳入)

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金があります。

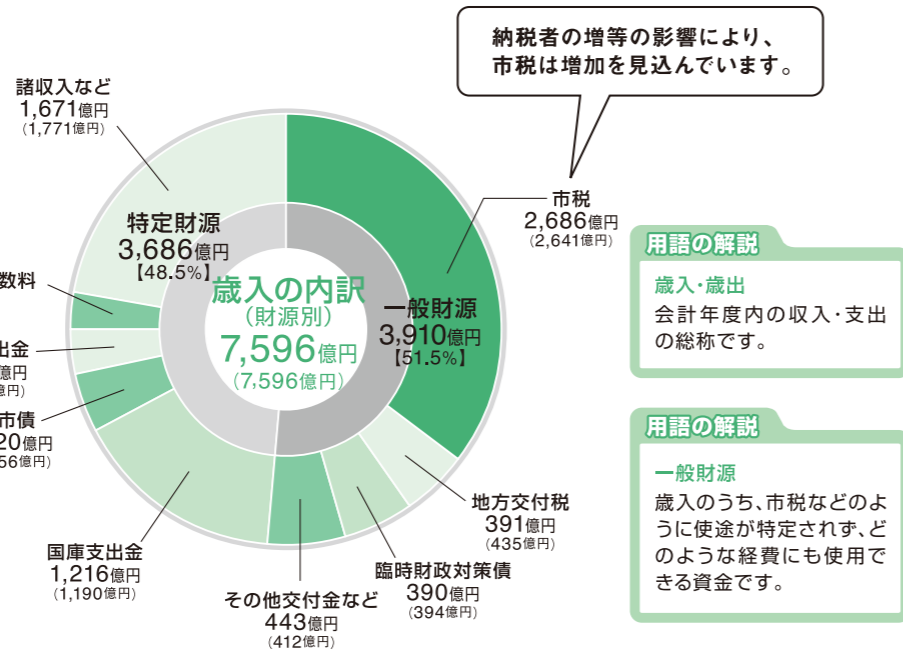
( )は前年度、【 】は構成比

### 用語の解説

**地方交付税**  
どの地域に住む国民も一定の行政サービスを提供できるよう、また、地方自治体間の財源の不均衡を調整するため、国税の一定割合の額を、国が地方自治体間に交付するものです。

### 用語の解説

**市債**  
道路や学校など長期間使用する施設建設などの財源として市が借り入れる長期借入金です。毎年度一定額を返済することで、市の財政負担を平準化します。



納税者の増等の影響により、市税は増加を見込んでいます。

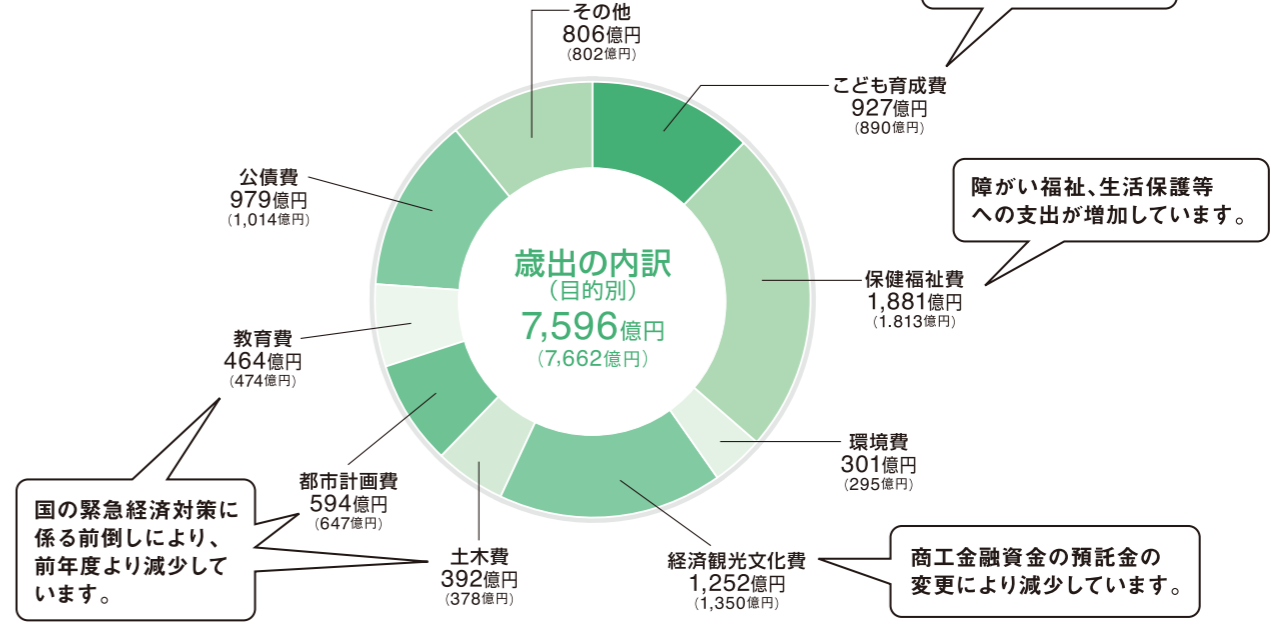
**用語の解説**  
**歳入・歳出**  
会計年度内の収入・支出の総称です。

**用語の解説**  
**一般財源**  
歳入のうち、市税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用できる資金です。

## ②一般会計の支出(歳出)

### 【目的別】

予算では、子育て、福祉など目的ごとにどれだけ使うのか定めています。( )は前年度



待機児童解消に向けた保育所整備等により増加しています。

障がい福祉、生活保護等への支出が増加しています。

国の緊急経済対策に係る前倒しにより、前年度より減少しています。

商工金融資金の預託金の変更により減少しています。

### 【性質別】

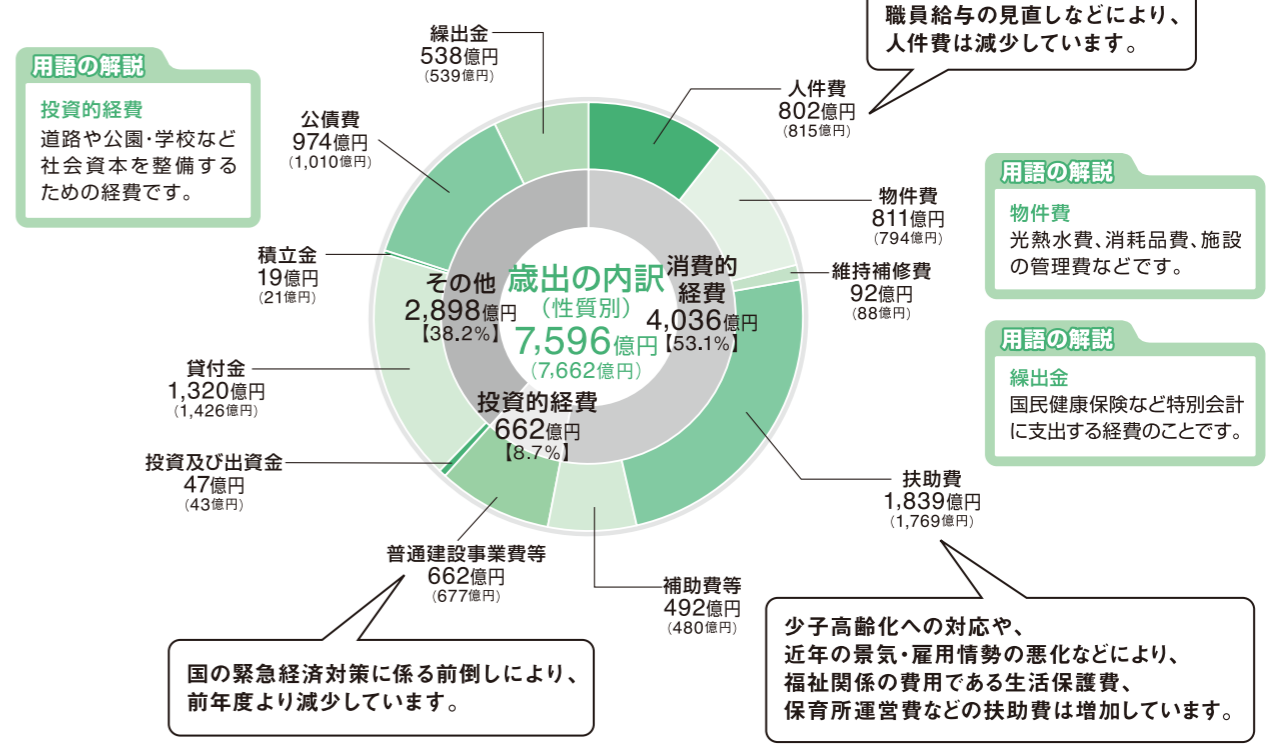
予算は、目的別だけではなく、人件費や物件費など性質による分類からもどれだけ使うのかが見ることができます。( )は前年度、【 】は構成比

### 用語の解説

**投資的経費**  
道路や公園・学校など社会資本を整備するための経費です。

**用語の解説**  
**物件費**  
光熱水費、消耗品費、施設の管理費などです。

**用語の解説**  
**繰出金**  
国民健康保険など特別会計に支出する経費のことです。















職員給与の見直しなどにより、人件費は減少しています。

国の緊急経済対策に係る前倒しにより、前年度より減少しています。

少子高齢化への対応や、近年の景気・雇用情勢の悪化などにより、福祉関係の費用である生活保護費、保育所運営費などの扶助費は増加しています。

## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約52万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	平成25年度予算		
	億円	円	市民1人あたりの予算
 保健・医療・福祉に 1,897 129,943 (25.0%) <p>高齢者も障がい者も誰もが住みやすいまちづくりを進めます。</p>			
 地域経済の発展に 1,331 91,173 (17.5%)			
 道路・住宅・計画的なまちづくりに 938 64,252 (12.3%) <p>待機児童の解消など、健やかな子どもの育成に積極的に取り組みます。</p>			
 こどもの育成に 929 63,636 (12.2%)			
 学校や教育に 534 36,578 (7.0%)			
 行政の運営に 514 35,209 (6.8%)			
 災害に強いまちに 428 29,318 (5.6%) <p>浸水対策事業など危機に強い安全・安心のまちづくりに取り組みます。</p>			
 清潔なまちに 320 21,920 (4.2%)			
 地下鉄・水道事業の支援に 261 17,878 (3.4%)			
 地域活動・文化・スポーツに 191 13,083 (2.5%)			
 新鮮で安全な食料の提供に 127 8,699 (1.7%)			
 公園整備や緑の保全に 126 8,631 (1.7%)			
<b>合計</b> <b>7,596</b> <b>520,320</b> <b>(100.0%)</b>			

※平成24年12月末現在の人口(145万9,870人)で割っています。  
 ※( )内は、構成比を示しています。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(7,596億円)を年間の収支が500万円(1月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

### ふくおか家・1カ月の家計簿

《収入》	
給与	30万2,000円
うち基本給 (市税などの自主財源)	18万3,000円
諸手当 (地方交付税、国・県支出金など)	11万9,000円
銀行からの借入 (市債)	3万9,000円
貸したお金の返済金 (貸付金元利収入)	7万5,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

《支出》	
家族の医療費 (扶助費)	10万1,000円
ローンの返済 (公債費)	5万3,000円
食費 (人件費)	4万4,000円
光熱費や通信費など (物件費)	4万6,000円
家・車・電化製品の修理・買い換え (維持修理費、普通建設事業費)	4万1,000円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	5万6,000円
友人などへ貸すお金 (貸付金)	7万5,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

義務的経費

ローンを5万3,000円返済する一方、新たな借入は3万9,000円に抑えました。借金残高を減らす努力をしています。

家族の医療費(生活保護費などの扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家計における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、47.6%となっています。

## ●どのような事業に使うの？

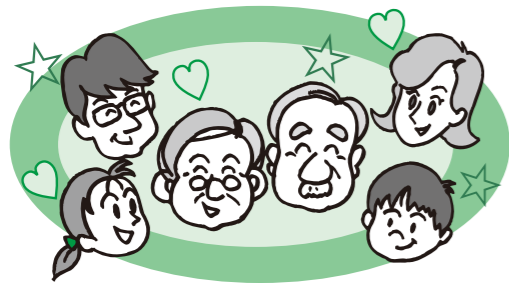
福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動と呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるといふ好循環を創っていくために、平成25年度は以下の事業等を実施します。

## 生活の質の向上

### 見守り、支え合う、強い絆の地域づくり

#### 自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業 210万円

自治会・町内会の加入率低下や役員の担い手不足などの地域コミュニティが抱える課題について、地域自らが検討し、実施していく取組を支援します。



#### 地域参画予算 1,530万円

区の事業の一部について、意思決定に住民が参画することで、事業内容への住民ニーズの適切な反映、納得性の向上などを図ります。



#### 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業 1,921万円

地域の見守り団体の相談・支援を行う地域福祉ソーシャルワーカーを8校区にモデル的に配置し、地域住民とともに地域にあった見守り体制を構築し、そのノウハウを他の地域に提供します。



#### 見守り推進プロジェクト 2,208万円

孤立死の防止などを目的とし、企業や地域で見守り活動をしている方から高齢者等の異変を通報してもらい安否確認を行う事業や、孤立死防止の啓発を行う出張講座を実施するなど、見守りを推進します。



## 次代を担う子ども、グローバル人材の育成

#### 平成26年度当初の待機児童ゼロをめざした保育所整備 38億7,610万円

平成26年度当初の待機児童解消に向け、保育所の新築や増改築、学校の余裕教室活用による分園、家庭的保育事業(保育ママ)など、多様な手法により840人分の整備を行い、既に取り組んでいる整備と合わせ、1900人分の整備を行います。



#### 福岡市保育コンシェルジュ 2,606万円

保育を希望する保護者に対して、個々のニーズに合った保育サービス等について情報提供や助言を行う「福岡市保育コンシェルジュ」を各区に配置します。



#### アジア太平洋子ども会議・イン福岡 6,450万円

アジア太平洋子ども会議・イン福岡が実施するアジア太平洋の国・地域の子どものための招聘事業への支援を引き続き行うとともに、25周年を迎えるにあたり、派遣事業の拡大に向けた基盤整備に対する支援を行います。



#### 英語教育の推進 4億1,603万円

子どもたちのコミュニケーション能力、行動力、発信力の向上のため、小中学校等での英語教育を充実させます。また、英語を体験できる様々な機会を設けるほか、釜山グローバルビレッジへの中学生の派遣や、釜山広域市で開催される「アジア・ユース・教育フォーラム」への高校生の派遣など「世界に羽ばたき、行動する国際人の育成」を目指します。



#### 道徳教育の推進 1,321万円

子どもたちの思いやりの心や、命を大切にすることを育むため、小中学校を対象に道徳教育推進モデル校を指定するなど、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで道徳教育に取り組む環境作りを行います。



# 都市の成長

## 観光・集客、MICE誘致及び都心部の機能強化の推進

### 黒田官兵衛プロジェクト

7,112万円

2014年大河ドラマ「軍師官兵衛」放映を契機として、関連史跡や文化財のPR、受け入れ環境整備による回遊促進、様々なプロモーションによる観光客誘致などの取組みを展開します。



### 地下鉄七隈線延伸事業

27億6,300万円

地下鉄七隈線の天神南～博多間の延伸について、早期実現に向け、工事施行認可や道路占用許可等の着工に必要な手続きや設計を進め、建設工事に着手します。



### アジアパーティの開催

2億2,224万円

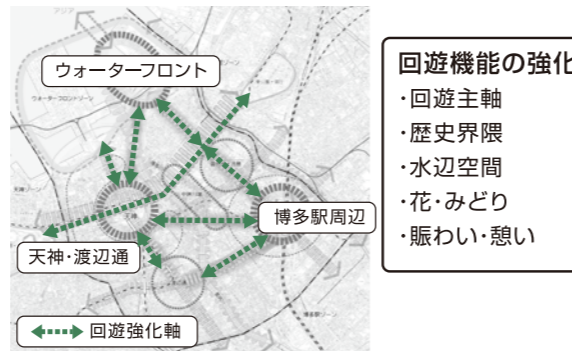
「アジアと創る」をテーマとしたアジアパーティを展開します。(アジアフォーカス・福岡国際映画祭、アジア太平洋フェスティバル、アジア文化賞、クリエイティブフェスタの開催等)



### 快適で高質な都心回遊空間の創出

1,400万円

都心部の各地区を結ぶ回遊空間において、水辺や歴史などの既存資源を生かしながら、花や緑、憩いと賑わいがつながる、快適で質の高い歩行者空間の創出に取り組みます。



### セントラルパーク構想推進事業

1,305万円

都心に近い貴重な緑地空間である大濠公園と舞鶴公園の有機的な連携・一体的な活用を図り、緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくりを進める構想の検討を行います。



### MICE誘致推進事業

5,384万円

経済波及効果や情報発信力の高いMICE誘致のため、世界のMICE関係者が加入する国際機関ICCAへの参画や国際見本市への出展など、戦略的な誘致活動の強化に取り組みます。



### アムステルダム便就航にあわせた欧州プロモーション

1,350万円

アムステルダム便の就航を受け、観光・コンテンツ等の魅力を組み合わせた効果的なシティプロモーションを実施し、欧州各国からの観光客の誘致、ビジネス交流などの活用を図ります。



## 人と企業を呼び込むスタートアップ都市づくり

### アイランドシティスマートコミュニティ創造事業

4,678万円

アイランドシティをモデル地区として、街区ごとに電力、熱などの供給源と利用先をネットワークで結び、需要と供給を調整するスマートコミュニティの形成を誘導するとともに、その形成を通して関連産業の振興を図ります。

### クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業

500万円

福岡におけるクリエイティブ関連産業の包括的拠点に関するニーズや内容を把握し、拠点の必要性、求められる機能やサービス、場所等について調査を実施します。

### インキュベート事業

1億4,435万円

創業を促進していくために、創業予定者や創業間もない企業・個人を対象に、低廉な使用料で事務所を提供し、併せて専門家を派遣して経営指標・相談等の支援を行います。

### クリエイティブ関連産業の振興

3,338万円

福岡市の強みであるゲーム、ファッションなどのクリエイティブ関連産業を振興し、地元企業の底上及び関連産業の集積を図り、雇用を創出します。



福岡市インキュベート認定マーク



福岡市創業支援事業の紹介動画

